

メール審議

期間：令和2年6月6日（土）～6月13日（土）

日本経営システム学会中国四国支部 令和2年度支部総会

議題

1. 令和元年度運営委員・事業・会計報告
2. 令和2年度運営委員・事業・予算（案）
3. その他

以上

1. 令和元年度運営委員・事業・会計報告

1. 1. 令和元年度運営委員（50音順，敬称略）

支部長：谷崎隆士（近畿大学）

副支部長：加藤浩介（広島工業大学）

幹事：宇野剛史（徳島大学）

監事：丹羽啓一（広島経済大学），藪内賢之（下関市立大学）

運営委員：折戸洋子（愛媛大学），加島智子（近畿大学），片岡隆之（近畿大学），
久保大支（広島経済大学），島田文彦（広島国際大学），丁井雅美（広島国際大学），
堂本絵理（広島経済大学），羽森寛（オー・エイチ・ティー(株)），
韓虎剛（県立広島大学），松本慎平（広島工業大学）。

顧問：上野信行（広島経済大学），久保田明（元(株)ハイエレコン）

特別顧問：福井五郎（株インターフェース）

1. 2. 令和元年度事業報告

I. 支部運営委員会

日時：令和元年5月18日（土） 14：20－15：00

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

II. 支部総会

日時：令和元年5月18日（土） 15：15－15：55

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

III. 支部講演会

■第1回

日時：令和元年5月18日（土） 16：10－17：30

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

共催：

・日本OR学会中国・四国支部「SCM&サービス工学」研究部会

講師：川勝英史氏（尾道市立大学 経済情報学部 教授）

題目：スピルオーバー効果を考慮した能力創造型海外子会社に対する補助金交付の最適方策

概要：

海外子会社は、能力活用型および能力創造型の2種類に分類され、受け入れ国の企業のイノベーションに（正または負の）影響を与えることが知られている。このような効果は、「スピルオーバー効果」と呼ばれ、水平、垂直（前方、後方）のそれに分類される。一般的に、受け入れ国は、能力創造型に分類されるような海外子会社に対して、自国への進出を望んでいると考えられる。このため受け入れ国は、このような海外子会社に対して、補助金ないし助成金（税制面での優遇なども含む）を与えることも少なくない。本研究では、これらの要因を考慮し、能力創造型海外子会社に対する最適な補助金割当を求めるためのモデルを提案する。

■第2回

日時：令和元年12月14日（土）14：30－17：20

会場：広島工業大学広島校舎 402号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

共催：

- ・日本オペレーションズ・リサーチ学会 「SCM&サービス工学」支部研究部会
- ・日本経営システム学会 イノベーション指向データ分析研究会
- ・日本オペレーションズ・リサーチ学会 「食とその周辺」研究部会

講師1：宇野剛史氏（徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授）

題目1：不確実性を伴う防御配置問題

概要1：

防御配置問題とは侵入者の防御対象に対する経路を予測して妨害するための意思決定として定義される。この問題には様々な不確実性が考えられるが、本講演では侵入者の初期位置およびエネルギーの不確実性に注目する。これらの要因を確率的に表すことで確率2レベル計画問題として定式化し、その解法アルゴリズムを構築する。

講師2：小出武氏（甲南大学 知能情報学部 知能情報学科 教授）

題目2：大学定期試験における教室・監督割当の最適化

概要2：

講師の所属する大学では、各科目の定期試験を実施する教室と試験監督を教務部職員が決定している。教室割当も監督割当も一種の組合せ最適化問題となっており、教務部職員にとって負担の大きい作業である。本講演では、これらの割当を実行すべく開発したシステムについて紹介する。最適化問題としての定式化やシステムの実現方法に加え、実用する上での工夫や苦勞についても報告する。

1. 3. 令和元年度会計報告

収入の部		支出の部	
科目	金額 (円)	科目	金額 (円)
本部交付金	30,000	会場費 (5月)	4,000
		講演謝金 (5月)	8,000
		講演謝金 (12月)	9,000
		講演謝金 (12月)	9,000
		小計	30,000
		本部返金	0
計	30,000	計	30,000

資料1：監査報告書・丹羽啓一氏 (監事)

資料2：監査報告書・藪内賢之氏 (監事)

2. 令和2年度運営委員・事業・予算 (案)

2. 1. 令和2年度運営委員 (案) (50音順, 敬称略)

支部長：谷崎隆士 (近畿大学)

副支部長：加藤浩介 (広島工業大学)

幹事：宇野剛史 (徳島大学)

監事：丹羽啓一 (広島経済大学), 藪内賢之 (下関市立大学)

運営委員：折戸洋子 (愛媛大学), 加島智子 (近畿大学), 片岡隆之 (近畿大学),
久保大支 (広島経済大学), 島田文彦 (広島国際大学), 丁井雅美 (広島国際大学),
堂本絵理 (広島経済大学), 羽森寛 (オー・エイチ・ティー(株)),
韓虎剛 (県立広島大学), 松本慎平 (広島工業大学).

顧問：上野信行 (広島経済大学), 久保田明 (元(株)ハイエレコン)

特別顧問：福井五郎 (株インターフェース)

2. 2. 令和2年度事業計画（案）

I. 支部運営委員会（メール審議）

II. 支部総会（メール審議）

III. 支部講演会

■第1回（広島地区で開催予定）

■第2回（広島地区で開催予定）

世話役：谷崎支部長

（日本OR学会中国・四国支部SCM&サービス工学研究部会との共催予定）

IV. 長期的活動方針

- 学界のみならず産業界との連携を積極的に行い、魅力的な活動の実施を通じて会員及び賛助会員の増大を図る.
- 中国四国地区における経営システム分野の研究者と実務家との間の交流を活性化する.
- 支部活動を通じて、会員相互の連携や関連分野の人材の取り込みを図るとともに、研究活動を充実させる.

2. 3. 令和2年度予算（案）

収入の部		支出の部	
科目	予算	科目	予算
本部交付金	30,000	会場費	4,000
		講演謝金	26,000
		小計	30,000
		本部返金	0
計	30,000	計	30,000

3. その他

- 支部ホームページの運営管理：宇野幹事
➤ URL：http://www-math.ias.tokushima-u.ac.jp/jms_cs/
- 支部運営委員および支部会員の名簿管理：宇野幹事
- 支部運営委員および支部会員への各種案内メール送付：宇野幹事